みかえり　第378号

月かげのいたらぬ里はなけれども
ながむる人のこころにぞすむ
法然上人

美しい冬の夜空を見ていると、「星のごとく急がず、しかも休まず」というゲーテの言葉を思います。夜空に輝く多くの星は宇宙の大きなリズムの中で、ゆっくりと、しかも休むことなく運行している、という意味です。

佛さまの大悲の働きは月の光に譬えられ、すべての念佛の人々を静かに照らし、しかも休むことなく摂取して下さる、と法然上人は歌に示しておられます。

私たちもまた命あるかぎり、急いだり休んだりすることなく、お念佛を喜べる生活をしたいものです。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市西京区在住山下チカ子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。一月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第379号

愛語

あるコンサートが始まる直前に、観客の一人が倒れてしまいました。救急隊が処置をしている間は、コンサートは始まりません。予定時刻から二十分が経ち三十分が経っていきます。

「早く場外に出せばいいのに」といらだった人の声が聞こえてきます。その言葉が、ますますいらだちを増していきます。

そんなとき、「せっかく会場まで来たのに本人はきっと残念よね。はやく回復して、またコンサートに来て欲しいね」という言葉が耳に届きます。

すると、観客席の空気は和らぎました。四十五分遅れで始まったコンサートは、この言葉で、いつも以上に盛り上がりました。

一つの言葉でも、心を和ませる大きな働きがあります。

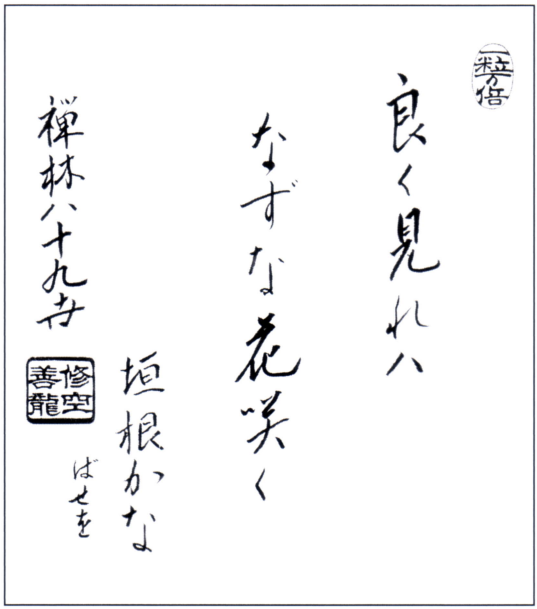
総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、岐阜県在住西須美子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。三月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第380号

中道



龍笛（雅楽の縦笛）の練習を始めた。吹口に下唇をのせ、強からず弱からず、ほどよい強さで息を吹くのがこつのようだ。

ふと、お釈迦様の説話を思い出した。

厳しい修行をして身体を壊し、それでも悟りを得られない弟子に、お釈迦様は竪琴の弦の譬えを引いて教える。

弦は強く張りすぎても良い音は出ないだろう。ゆるくてもだめだ。弦をほどよい強さに張ったとき、はじめて良い音が出る。悟りを得る道も同じだと。

ふだんなら見過ごしてしまうこと、何気ないことにも真実がある。

佛はそのことを教えてくれる。やさしい譬えを引いて。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、滋賀県在住松田良子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。四月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第381号

少欲知足

山菜を採るときのコツをしっていますか。

「豊作の年も不作の年もそれなりに採る」のです。

珍しい山菜を見つけると、つい根こそぎ欲しくなりますが、そうはしないのです。欲しいのは自分だけではないし、来年も再来年も、孫子の代のことまで考えて、不作であっても豊作であっても、そうするのです。

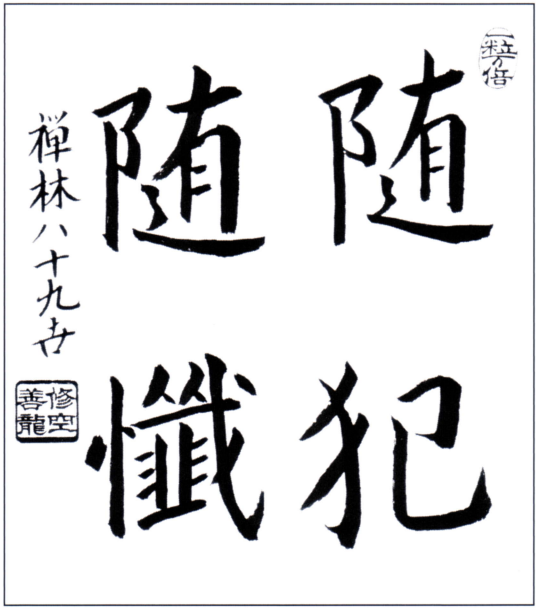
少欲知足は、自分への戒めと同時に、他人を思いやる温かい気持ちのあらわれです。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県在住小野田尊禧様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。五月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第382号



持戒

生命あるもの
殺してはならんぞ
与えられざるもの
盗ってはならんぞ
男女の淫らな
交わりはならんぞ
人を欺き騙す
嘘はならんぞ
心を乱す
酒もならんぞ
僅か五つの佛の戒め
心して保つべし
如何ともしがたき
破戒の時は
血涙流して懺悔すべし

総本山　永観堂　禪林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、北海道在住矢口あつ子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。六月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第383号

諸法無我

庭のアジサイに
孵ったばかりの
カマキリが
数知れず
ひしめき合っている

成虫になれるのは
いかほどであろうか

多くの同胞の
犠牲の上に
残ったものが
種を伝える
使命を負う

我が身とて
貴い他の命
限りなき恩
お陰をいただいて
今がある

どこに
我があろうか

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県在住吉田真一郎様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。七月十五日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第384号

布施

動産に不動産
お金は
欲望を満たす
バッテリー

過剰な充電が
その品質を
劣化さすよう

貯めるだけでは
その人の
品位を傷つける

自らは
欲は少なく
足るを知り

他には
施し与う
慈悲の心を
蓄えていこう

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府在住塩田みさ子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。八月十日に抽籤致し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第385号

願に生きる

人生の様子を、一人乗りの手こぎボートにたとえることがあります。自分の目で見えるのは、これまでの過ぎ去ったことだけで、ボートが進む未来は、自分の目で見ることができません。これからきっとこうなるであろう、これからはこのようにしたいと思う未来は、ボートをこぐ私の目ではわかりません。

過去だけしか見えない私が、見えない未来に進んでいくときに必要なのが「願」です。願のない生き方には、未来へのエネルギーは生まれてきません。

佛さまの願いを受けて、自分自身の中に願いを発するときに、生きる力が湧いてきます。どういう願いを発するのか、そこに人生の価値が表れてきます。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県在住山田剛様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。九月十五日に抽籤し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第386号

報恩感謝

人はつながりあって生きています。

身近な人、名前も顔も知らない人に支えられて生きています。

そのつながりを感じることが、縁を大切にする生き方です。

しかし、縁を感じられなくなったらどうしましょう。認知症で誰が誰だかわからなくなったとしても、でも大丈夫。あなたがわからなくても、手を握ってくれるその人は、あなたのことがわかっていますから。

縁は自分からより、人様からいただく縁の方が多くて強いのです。

これを感じるのが報恩感謝の生き方です。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市西京区在住西林伸二様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。十月十五日に抽籤し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第387号

不如意

我が身体
己のものと
思いしに

如何せん
病みし体ひとつを
自分で癒やせない

我が精神
己のものと
思いしに

如何せん
苦しい思いひとつを
自分で始末できない

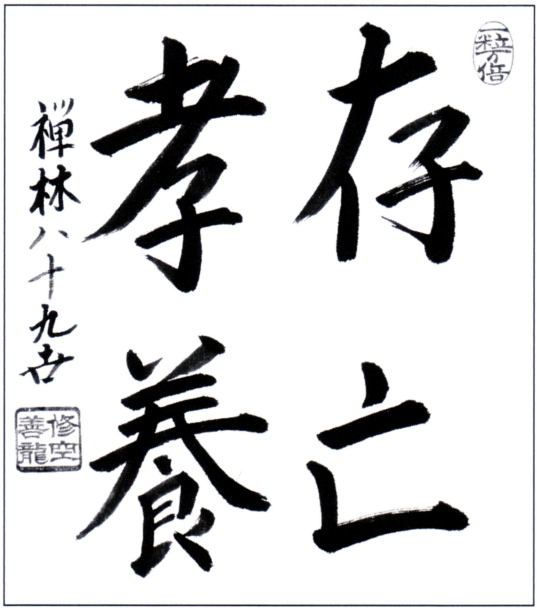
それでも
我が身体
我が精神
あるがまま
あるがままを感謝し
受け入れていこう

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県小野市在住上田三千代様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。十一月十五日に抽籤し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第388号



不離心

（延命十句観音経）

叔母さんと一緒にお母さんの墓参りへ行かされた娘さんが話してくれた。

「読経が済むと叔母さんが、『お供え物を食べて帰りましょう』と言ったんです。『こんなところで！』と思ったけれど、まるでピクニックのようで楽しい一時でした」と。

そして、「法事の席で会食するのは、亡くなったご先祖様とも一緒に食事をすることなのですね」と笑顔で言った。

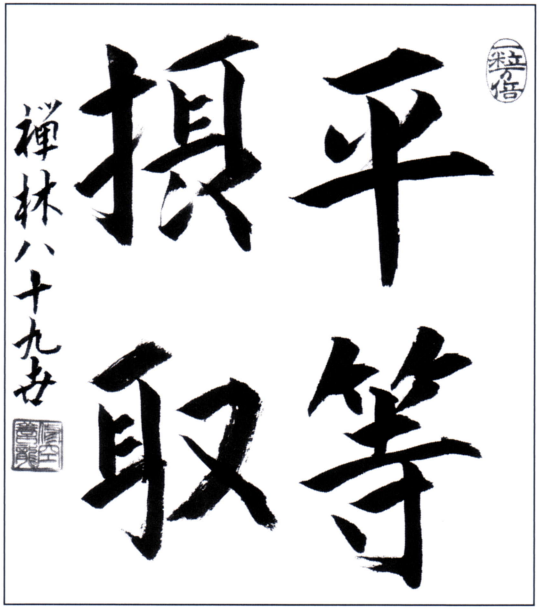
総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府宇治市在住古森寛琢様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。十二月十五日に抽籤し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所

みかえり　第389号

願共諸衆生
往生安楽国



芥川龍之介氏の『蜘蛛の糸』の結末。カンダタが、蜘蛛の糸に群がる者たちに、「そんなにつかまっては、糸が切れてしまう」と叫んだ瞬間に、ぷつりと糸が切れてしまうのです。

これは、自分だけ助かりたいというカンダタの利己心によって切れたと思われています。

でも、たくさんの人がつかまったとしても、必ず浄土にたどり着けるとカンダタが信じていたら、糸は切れなかったでしょう。

あらゆる命ある者と共に、往生できるのです。

総本山　永観堂　禅林寺

右の色紙は管長小木曽善龍猊下のご染筆です。前々号の色紙は、滋賀県大津市在住小谷和子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。十二月十五日に抽籤し一名に進呈。

〒606-8445　京都市左京区永観堂町48　電話075（761）0007
浄土宗西山禅林寺派宗務所